

令和7年度 第1回 帯広市地域自立支援協議会 権利擁護部会 議事録【概要版】

日時：令和8年2月26日（木）18:30～19:55

場所：ソネビル 6階 講習会室

出席委員（29名）

事務局（9名）

帯広市 6名、十勝障がい者総合相談支援センター 3名

- 1 開会
- 2 部会長挨拶 帯広市市民福祉部福祉支援室長
- 3 趣旨説明

自己紹介については、資料2座席表を各自確認頂くこととした。

事務局より、権利擁護部会の趣旨について資料3・4に基づき説明があった。

4 議 事

（1）令和6年度の取り組み状況等の報告

事務局より、障害者差別に関する令和6年度の相談事例について、資料5に基づき報告があった。また、障害者虐待に関する事業報告について資料6に基づき報告があった。

（2）講演「生きづらさを感じている人達 ～見え隠れする発達障害～」

上士幌町子ども発達支援センター 藤田 晴美 氏

資料7のセクションに沿って、様々な発達障害で悩んでいる方の事例などを通じ、生きづらさを感じる人たちを取り巻く状況や、障害のある人がごく普通の生活をするためにできる対応について紹介いただいた。

（3）質疑応答・情報交換

講演に対する質問等はなく、情報交換における主な内容は次のとおり。

・出欠確認時の質問事項「障害者差別の解消や合理的配慮の提供、虐待防止の取り組み事例」について、1機関から、適宜の研修や情報に応じて、定例のミーティング等にてスタッフと共有しているという報告があった旨事務局より説明があった。

・出欠確認時の質問事項「障害のある方への対応において、判断に迷ったことや、課題を感じた事例」について、1機関より、近年の住居の確保について、身元保証人ではなく緊急連絡先が確保できずに賃貸契約が困難なケースが多くみられるという報告があり、報告機関から説明があった。

・事務局より、障害のある方が、賃貸物件の管理会社に連絡する際、インターネットを介した方法のみでは対応することが困難であった事例の説明があった。

（4）その他

特になし

5 閉会

実務者会議の開催を必要とする相談事例があった場合の関係構成員の協力を依頼し、閉会。